

千葉北西連絡道路地元検討会

設立趣旨

千葉県北西部は、常磐自動車道や国道16号、国道6号等に支えられ、経済活動が活発な地域であり、特に、外環道と圏央道の中間に位置し、県北西部を南北に連絡する唯一の広域的な道路である国道16号沿線には、大型商業施設や物流施設が多く立地しており、今後も物流施設の立地等の開発計画に伴う、交通需要の増大が見込まれる。

また、令和元年10月には台風19号による豪雨災害により、田中調節池内の市道が通行止めになり、並行する国道16号や県道等に交通が集中し、交通機能が麻痺するなど、災害時における道路網の脆弱性についても確認したところである。

こうした状況を踏まえ、野田市～印西市間について、国道16号の渋滞を解消し、輸送時間の短縮による企業活動の効率化、成田空港とのアクセス強化、迅速な救急医療活動、交通事故の減少、路線バスの定時性の向上などを図り、平時・災害時を問わず安定した人・モノの流れを確保するために、千葉北西連絡道路検討会において、計画の具体化に向けた意見交換、検討を行い、令和4年11月に基本方針を策定したところである。

この千葉北西連絡道路の計画の具体化にあたり、基本方針を踏まえて概略計画の検討(計画段階評価を含む)を進めることを目的として、「千葉北西連絡道路地元検討会」を設立するものである。